

令和3年度 市民活動助成金事業一覧

	事業名 事業期間	実施団体 代表者名	事業の趣旨・目的	団体の目的
1	第2回川口多文化共生シンポジウム (令和3年6月15日～令和4年1月31日)	特定非営利活動法人NGO多文化共生協働センター・川口 峰久 節子	市区町村レベルで在住外国人数が全国でトップの川口市において、有識者及び実務家を招聘してシンポジウムを開催することにより、一人でも多くの市民の方に多文化共生の意義・必要性を理解してもらう。	文化的背景の異なる在住外国籍の人たちの自立支援の他、行政をはじめ関係機関、諸団体などと連携し、協働の事業を促進させ、共生社会の実現に向けた「まちづくり」に貢献する。
2	郷土かるた&すごろく”川口すごかるた”の普及啓発活動（郷土の歴史・文化の出会いと再発見による地域活性化） (令和3年6月15日～令和4年1月31日)	川口すごかるた制作委員会 福井 千波	市民の郷土愛を育むため、多世代で一緒に遊べる“すごろく”及び“かるた”という昔ながらの遊びを通じて、川口の自然、歴史、文化、名所、人物、特産物等を知り、郷土愛を育む。	郷土愛を育み川口をもっともっと好きになるすごかるたを制作し、その活動を通じて地域交流と社会貢献を図る。
3	第6回絵本フェスタ川口 (令和3年6月15日～令和3年10月31日)	えいご・にほんご絵本の会 森行 千賀子	ステイホームの機会が増えたコロナ禍の子育てにおいて、絵本が果たす重要な役割に着目し、絵本作家の出展イベントと絵本の読み聞かせライブを行い、自宅でも楽しめる絵本の楽しみ方を伝えるとともに、絵本を通して子どもたちが心豊かさを感じとれる環境づくりに寄与し、読書活動の推進と地域文化の振興を図る。	国内外のわらべうた、民話、手遊び、絵本の読み聞かせを通して、子育て期の過程の読書活動推進や子どもの健全育成をサポートする。
4	So Zo Labo ”好き”を”スキル”に変える学びの実験場 (令和3年6月19日～令和4年1月9日)	NUSHの会 笹川 綿子	大人が子どもに知ってほしいことを教えるのではなく、ワークショップの体験を通じて、子どもたち自身がもつ能力を発揮できるような機会と場を提供することで、自分の可能性に気づかせ、それをさらに磨ける環境を作ることが目的とする。	ハンディキャップや苦手のある子どもたちの体験活動を支援する。
5	座位姿勢と歩行の測定会 ー最先端技術で見える化します！ー (令和3年7月1日～令和3年12月12日)	特定非営利活動法人健康姿勢管理 大谷 富夫	科学的見地から普段の座位姿勢と歩行の値を客観的に数値化することで、姿勢と転倒リスクの相関関係を明らかにし、姿勢改善の重要性と介護予防の大切さを多くの市民に啓発する座位姿勢と歩行の測定会イベントを開催。姿勢と歩行の改善を通して、地域の人たちを元気にすることを目的とする。	姿勢の歪んでいる人に対し、足裏からの姿勢の改善・管理及び姿勢改善の運動を行い、豊かな人生を愉しむこと、そして社会全体の利益の増進に寄与すること。
6	児童虐待防止のための講演会 (令和3年7月1日～令和3年10月10日)	任意団体おてんき舎 渡邊 香織	個人や家庭内の問題として、見過ごされることが多い児童虐待について、その発生してしまうメカニズムや実情を支援に取り組んでいる講師、被虐待者等を招いて講演を行うことで、広く市民に周知し、関心を深めるきっかけを提供することを目的とする。	青少年のひきこもり、孤独な育児への関わり方を模索し、人と人、人とコミュニティをつなぐ支援をする。
7	わくわく楽しく学べるワークショップ (令和3年6月20日～令和3年12月12日)	モチモチの会かわぐち 金子 遙洵	学校・家庭における学びの機会は増えている一方で地域の学びの場は限られている現状において、就学前及び小学校低学年・中学年の児童を対象としたワークショップを通じて、楽しく学ぶ体験を提供することで、多くのことに興味を持ち、学習意欲や自己肯定感の向上に寄与することを目的とする。	一人ひとりが自分の望むかたちのくらしを実現する社会と関わることを環境を作ること。